

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	消防隊員・救急隊員育成事業						
総合計画 重点施策	安全安心な生活が送れるまちづくり	組織目標	○	担当部	消防本部	担当課	総務課

事業目的・概要
教育機関で行われる専門的な研修や講習会へ適任者及び意欲のある職員を計画的に参加させ、教養や訓練を通し、習得した消防に関する知識・技術を消防職員に継承させ、人材育成を図る。

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
研修及び講習会の受講状況 受講参加者からの教養訓練の実施状況	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消防学校初任教育	第117期初任科						第118期初任科					
消防学校専科教育	研修者推薦	研修者決定		水難救助		救助、危険物、救急、警防		火災調査、救急、特殊災害				総合訓練
消防大学校教育			予防科116期				火災調査科47期					
救急救命士研修	第66期研修											令和8年度違考試験
指導救急救命士研修		指導救命士研修										

進捗状況	研修、講習会の派遣については、計画したすべての研修や講習会を予定どおり実施した。また、受講参加者から帰庁後の職員へ教養訓練伝達については、すべてが完了した。	進捗度	A (予定どおり進んでいる)
------	--	-----	-------------------

今後の方向性	
継続	研修や講習会により、消防業務において必要な知識や資格を取得させ、複雑多様化する各種災害に対する知識及び技術をその他の職員に継承することにより、消防対応力が保たれ市民の安全安心に寄与する。

事業費(単位:千円)		R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由 消防大学校(予防課、火災調査科)へ入校させたこと及び新たに救助技術に関する実務講習会を実施したことによる。また、各研修や講習費の価格が上昇したことにより増額となった。
事業費	国庫支出金				
	県支出金		766		
	地方債				
	その他				
	一般財源	7,236	6,939	7,063	
事業費計(A)		7,236	7,705	7,063	
人件費	正規職員数	8	8	7	
	業務時間	644	688	650	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		2,056	2,211	2,164	
トータルコスト(A+B)		9,292	9,916	9,227	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	消防団運営事業						
総合計画 重点施策	安全安心な生活が送れるまちづくり	組織目標	○	担当部	消防本部	担当課	総務課

事業目的・概要
<p>事業計画に基づき団員の研修や訓練を行い災害対応力の向上を図り地域防災力の向上を図り、イベント等では、積極的な入団促進活動を行い団員の確保に努める。また、随時、消防団施設・装備等の適正管理のため点検や修繕を行い有事のための消防団体制の万全を期する。さらには、消防団員の減少や活動環境などを改善するため活動環境整備委員会議を開催し後年の方針を固める。</p>

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
消防団員の充足率	%	86	85	86	87

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消防団員研修	■ 分団長・新任消防団員研修			■ 消防団勉強会				■ 消防団勉強会 ■ 分団指揮課程				■ 女性消防団員講座
演習訓練	← 方面隊又は分団訓練(随時) ■ 3組合水防演習				■ ポンプ操法訓練		← 方面隊又は分団訓練(随時)					
施設・装備管理	← 点検及び修繕(随時)								← 車庫点検			
入団促進活動	■ 子供天国					■ ポンプ操法大会		■ 消防フェスタ		← 出初式・入団促進強化月間		
活動環境整備委員会議							← 期日未定					
進捗状況	<p>年間を通して消防団員が災害に出動するための自主的な訓練や研修が実施できた。消防団勉強会については実施内容により開催回数を1回に変更し実施し、このほか、ポンプ操法大会や消防フェスタなどを計画どおり実施することができた。また、1月から3月までの期間を「消防団員入団促進強化月間」と位置づけ消防出初式や、各地域(消防団車庫や消防団応援の店)において、ポスターの掲示やのぼり旗、市が管理する歩道橋に横断幕の掲出を実施した。</p>									進捗度	B (概ね予定どおり進んでいる)	

今後の方向性	
継続	地域防災の中核であり代替性のない存在の消防団については、今後ますます危惧される大規模災害発生時の対応力の維持のため、継続する事業である。

事業費(単位:千円)		R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			692	令和5年度茨城県消防団ポンプ操法大会で取手市消防団が優勝したことから、令和6年度に宮城県利府町で行われた全国消防操法大会に出場するための経費が増額となった。
	県支出金				
	地方債	20,300	21,200	44,000	
	その他	1,174	2,828	3,621	
	一般財源	19,628	18,503	20,145	
事業費計(A)		41,102	42,531	68,458	
人件費	正規職員数	8	8	7	
	業務時間	780	1,268	850	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		2,490	4,075	2,830	
トータルコスト(A+B)		43,592	46,606	71,288	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	消防施設・設備等維持管理事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	消防本部	担当課	総務課

事業目的・概要
<p>各消防施設・設備を適正に管理するため業務委託や点検などを行い、施設・設備の適正な維持管理に務め、職場環境の充実を図る。</p>

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
消防庁舎及び設備の維持管理並びに修繕	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消防施設・設備等管理修繕												
気象観測装置更新												

進捗状況	<p>各施設・設備管理業務委託契約については、令和6年度当初に契約を締結し、年間を通し管理業務を実施させ、不良箇所については随時修繕工事などを施し令和7年度末に完了した。また、気象観測装置更新については、使用開始から5年の期限を迎える機器等の交換を行うため10月から事業に取り組み3月上旬に予定どおり完了した。</p>	進捗度	A (予定どおり進んでいる)
------	---	-----	-------------------

今後の方向性	
継続	今後も消防庁舎・設備の維持管理に努め、訓練棟や付帯設備などについては計画的な維持管理を図る。

事業費(単位:千円)		R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				庁舎や付帯設備などの維持管理のため大きな工事や修繕がなかったことから修繕料が減額となった。
	県支出金				
	地方債			4,000	
	その他		880		
	一般財源	14,535	10,751	13,325	
事業費計(A)		14,535	11,631	17,325	
人件費	正規職員数	8	8	7	
	業務時間	303	347	350	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		967	1,115	1,165	
トータルコスト(A+B)		15,502	12,746	18,490	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	住宅防火推進事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	消防本部	担当課	予防課

事業目的・概要
住宅火災による死者の減少を目的として、住宅用火災警報器の設置を、市ホームページ、市広報紙、市公式SNS、各種イベントをととして設置を促進する。また、既に設置している世帯に対しては、定期的な点検及び10年を目安とした取替えを促進する。

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
住宅火災件数(住宅火災による死者数)	件	18(2)	7(1)	前年度より減少	前年度より減少

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
HP・広報紙・SNS・イベント等での住 警器設置促進・維持管理活動	←————— 随時実施 —————→											
秋季及び春季全国火災予防運 動中の火災予防広報							計画作成	秋季火災予防運動			計画作成	春季火災予防運動
消防フェスタの開催						計画作成・事前準備		開催				

進捗状況	広報とりで(11/1号、3/1号)において、住宅防火に関する記事を記載し火災予防広報活動を実施した。また、11月と3月の全国火災予防運動期間中、防災行政無線、防災ラジオ及びSNSを活用し火災予防広報を実施するとともに住宅用火災警報器の点検広報を実施した。住宅用火災警報器の設置状況調査は、前年度より設置率が向上する結果となった。	進捗度	A (予定どおり進んでいる)
------	--	-----	-------------------

今後の方向性	
継続	事業の目的を達成するため、取手市消防団、取手市防火安全協会、取手市婦人防火クラブの協力を得ながら、あらゆる機会をとらえて活動を実施する。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源			
事業費計(A)	0	0	0	
人件費	正規職員数	7	8	8
	業務時間	244	256	256
	その他職員人件費			
人件費計(B)	779	823	852	
トータルコスト(A+B)	779	823	852	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	防火対象物及び危険物施設への防火指導事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	消防本部	担当課	予防課

事業目的・概要
<p>市民が安全に安心して暮らせる環境を目的として、消防法令に基づき危険物施設の運営や防火対象物の防火管理について適切な指導を実施するとともに、計画的な立入検査により法令違反や不備事項の是正指導を実施し、火災危険を排除する。</p>

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
危険物施設事故件数	件	0	0	0	0
防火対象物火災件数	件	6	3	前年度より減少	前年度より減少

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
防火対象物への立入検査	計画作成		防火対象物立入検査									
危険物施設への立入検査	計画作成		移動タンク立入検査		ガソリンスタンド立入検査			移動タンク(路上)立入検査				
進捗状況	計画とおり立入検査を行い、不備事項の是正指導を実施したことにより、防火対象物火災は前年度より減少させることができた。									進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性	
継続	事業の目的を達成するため、今後も継続して実施する。

事業費(単位:千円)		R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源				
事業費計(A)		0	0	0	
人件費	正規職員数	7	8	8	
	業務時間	2,500	2,500	2,500	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		7,980	8,035	8,323	
トータルコスト(A+B)		7,980	8,035	8,323	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	消防車両整備事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	消防本部	担当課	警防課

事業目的・概要
消防車両等の適正な機能維持のため、整備計画に基づき車両更新を行い、各種災害対応に万全を期する。

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
整備計画に基づく車両更新	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
救助工作車Ⅱ型(取手消防署)	仕様書作成	仮契約	本契約						中間検査		納車	
消防団ポンプ自動車(第7分団)	仕様書作成	仮契約	本契約					中間検査	納車			

進捗状況	取手市消防本部及び取手市消防団車両整備計画に基づく救助工作車Ⅱ型及び消防団ポンプ自動車の更新については、5月に入札を行い仮契約、6月議会で可決され本契約を取り交わし、中間検査を経て、消防団ポンプ自動車は12月12日、救助工作車Ⅱ型は2月19日に納車される。	進捗度	A (予定どおり進んでいる)
------	--	-----	-------------------

今後の方向性	
継続	災害対応に万全を期するため、消防車両整備事業を継続する。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	16,442		17,113	令和6年度は、常備消防の救助工作車1台、消防団ポンプ自動車1台を更新した。救助工作車には、クレーン、ウインチ、照明装置及び最新の救助資機材が数多く更新配置されているため、増額となった。
	県支出金				
	地方債	72,600	188,000	118,800	
	その他	7,020	13,146	9,283	
	一般財源	1	2		
事業費計(A)	96,063	201,148	145,196		
人件費	正規職員数	6	6	6	
	業務時間	1,500	1,500	1,500	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	4,788	4,821	4,994		
トータルコスト(A+B)	100,851	205,969	150,190		

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	消防水利整備事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	消防本部	担当課	警防課

事業目的・概要
<p>消火活動に必須となる消防水利を整備計画等に基づき設置するとともに、火災発生時に備え管内全ての消防水利を年2回調査を実施し、消防水利の状況把握に務める。なお、修繕等が必要な施設については、適時改修する。</p>

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
消防水利の新規設置及び維持管理	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消防水利定期点検	定期点検	修繕					定期点検	修繕				
消火栓新設							工事開始	工事完了				
進捗状況	令和6年度の定期点検に応じた水利施設の改修、修繕を実施した。水利については、新設消火栓を計画どおり設置した。									進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性	
継続	消火活動を行う上で必要な施設であることから、既設消防水利の適正な維持管理及び新設消防水利の設置を継続していく。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				令和6年度については、新設消火栓1基設置したことで増額となる。
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	4,166	5,462	15,237	
事業費計(A)	4,166	5,462	15,237		
人件費	正規職員数	6	6	6	
	業務時間	2,000	2,000	2,000	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	6,384	6,428	6,658		
トータルコスト(A+B)	10,550	11,890	21,895		

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	消防隊員・救急隊員の育成事業(救急救命士養成)						
総合計画 重点施策	安全安心な生活が送れるまちづくり	組織目標	○	担当部	消防本部	担当課	警防課

事業目的・概要
<p>救急活動体制の充実強化を図るため、適任者の中から新規救急救命士及び指導的立場の救急救命士を養成する。また、既に資格取得の救急救命士に対しては就業前研修、気管挿管病院実習や基本特定行為再教育を受講させ、救急救命士の質の向上を図る。</p>

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
救急救命士職員数	人	41	44	47	48

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
救急救命士研修	入所派遣 → 卒業										国家試験 合格発表	
救急救命士就業前研修		研修	研修	研修								
指導救命士研修		入所派遣 → 卒業										
気管挿管病院実習		← 実習開始 → 実習終了					← 実習開始 → 実習終了					
基本特定行為再講習					再講習				再講習			

進捗状況	<p>令和6年度は予定どおり、救急救命士研修所への入校1名、救急救命士就業前研修4名、指導救命士1名、気管挿管実習2名、基本特定行為再講習3名を派遣することができた。</p>	進捗度	B (概ね予定どおり進んでいる)
-------------	---	------------	---------------------

今後の方向性	
継続	救急救命士資格者の昇任及び退職等により、今後も計画的な新規救急救命士の養成及び再教育を継続する。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				令和6年度は、予定どおり救急救命士研修所への入校が1名、就業前研修4名、指導救命士1名、気管挿管実習2名、基本特定行為再講習3名を派遣することができたため、前年比とほぼ同額となる。
	県支出金				
	地方債				
	その他	91	91	91	
	一般財源	3,241	3,246	3,205	
事業費計(A)	3,332	3,337	3,296		
人件費	正規職員数	6	6	6	
	業務時間	1,000	1,000	1,000	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	3,192	3,214	3,329		
トータルコスト(A+B)	6,524	6,551	6,625		

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	消防隊員・救急隊員の育成事業						
総合計画 重点施策	安全安心な生活が送れるまちづくり	組織目標	○	担当部	消防本部	担当課	取手消防署

事業目的・概要
<p>複雑多様化する各種災害に的確・効果的に対応するため、訓練計画に基づき訓練や教養を実施し、各隊員の知識・技術の向上に努める。 また、すべての機関員に任命される職員に対する再教育と、新規機関員の養成をおこない、消防力の維持向上に努める。</p>

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
訓練計画及び育成・養成プログラムに対する達成率	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
警防活動検討会	警防検討会 年度計画作成		年度計画に基づく警防活動訓練						警防活動訓練		警防検討会 課題検討	
救急検討委員会	救急検討委員会 年度計画作成		年度計画に基づく救急活動訓練						救急総合 シミュレーション		救急検討委員会 課題検討	
救急救命士養成 救急救命研修所入校 救急救命士研修・実習	指導救命士研修、救急救命士実習、研修(就業前教育、再教育、気管挿管実習)、救急救命東京研修所、救急救命士国家試験											
消防学校初任教育	初任科						初任科					
消防学校専科教育				水難救助		救助、危険物、救急、警防			火災調査、救急、特殊災害			

進捗状況	<p>年間訓練計画に基づく訓練を実施し、各隊員の技術と知識の向上が図られた。 合同訓練を定期的実施することにより、署々間の連携が向上された。 技能確認訓練及び総合訓練を実施し、各署の技術力を確認して課題を検証した。 機関員に任命されている職員に対する再教育と、新規機関員の養成を行い、消防力の維持向上が図られた。</p>	進捗度	A (予定どおり進んでいる)
-------------	--	------------	-------------------

今後の方向性	
継続	<p>年間の災害出動件数が増加傾向のなか、消防力の維持向上のために、継続が必要な事業であり、効率的な反復訓練を計画して訓練時間を確保していく。</p>

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源			
事業費計(A)	0	0	0	
人件費	正規職員数	18	18	18
	業務時間	2,876	4,576	5,000
	その他職員人件費			
人件費計(B)	9,180	14,707	16,645	
トータルコスト(A+B)	9,180	14,707	16,645	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	応急手当普及啓発事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	消防本部	担当課	取手消防署

事業目的・概要
<p>市内在住・在勤・在学の方々に救命講習会への参加を促進し、応急手当の重要性やAEDの取り扱いを含めた救命処置の知識・技術を習得してもらい、救命率の向上を目指す。 また、応急手当のPRをSNSを利用して配信し、一人でも多くの市民に、応急手当の重要性を認識してもらう推進活動を進める。</p>

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
救命講習会受講者数	人	3,628	4,047	4,100	4,100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
救急検討委員会												
応急手当普及啓発プロジェクト												
進捗状況	<p>年度初めに立案した年間計画に基づき講習会及び訓練等が開催できたことや、応急手当普及のためのPR動画をSNSで配信したことにより、受講者数が増加した。</p>										進捗度	A (予定どおり進んでいる)

今後の方向性	
継続	救命率向上には市民による応急手当が不可欠であり、一人でも多くの方々に心肺蘇生法とAEDの取り扱いを含む、知識・技術を習得してもらうため、継続事業とする。

事業費(単位:千円)		R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源				
事業費計(A)		0	0	0	
人件費	正規職員数	18	18	18	
	業務時間	496	712	720	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		1,583	2,288	2,397	
トータルコスト(A+B)		1,583	2,288	2,397	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	消防水利の維持管理事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	消防本部	担当課	取手消防署

事業目的・概要
火災発生時に必要な消防水利を常時使用可能な状態にするため定期点検を実施し、不良箇所を把握して必要に応じた修繕を行い、適正な維持管理に努める。

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
すべての消防水利に対する点検率	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水利調査年間計画	水利調査 年間計画作成	前期調査、調査結果に基づく修繕				後期調査、調査結果に基づく修繕 凍結防止処置						
進捗状況	すべての消防水利を年次点検計画に基づく定期点検を行い、点検結果を担当課へ報告するとともに、不良箇所についての補修等を行い、適正な維持管理に努めた。また、冬期には防火水槽の蓋に凍結防止対策を行い、使用に支障がないよう維持管理に努めた。									進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性	
継続	消防水利を適正に維持管理するために継続する。

事業費(単位:千円)		R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源				
事業費計(A)		0	0	0	
人件費	正規職員数	18	18	18	
	業務時間	960	960	960	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		3,064	3,085	3,196	
トータルコスト(A+B)		3,064	3,085	3,196	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	消防隊員・救急隊員の育成事業						
総合計画 重点施策	安全安心な生活が送れるまちづくり	組織目標	○	担当部	消防本部	担当課	戸頭消防署

事業目的・概要
<p>複雑多様化する各種災害に的確・効果的に対応するため、訓練計画に基づき訓練や教養を実施し、各隊員の知識・技術の向上に努める。 また、すべての機関員に任命される職員に対する再教育と、新規機関員の養成をおこない、消防力の維持向上に努める。</p>

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
訓練計画及び育成・養成プログラムに対する達成率	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
警防活動検討会	警防検討会 年度計画作成		年度計画に基づく警防活動訓練						警防活動訓練		警防検討会 課題検討	
救急検討委員会	救急検討委員会 年度計画作成		年度計画に基づく救急活動訓練						救急総合 シミュレーション		救急検討委員会 課題検討	
救急救命士養成 救急救命研修所入校 救急救命士研修・実習	指導救命士研修、救急救命士実習・研修（就業前教育、再教育、気管挿管実習）、救急救命東京研修所、救急救命士国家試験											
消防学校初任教育	第117期初任科						第118期初任科					
消防学校専科教育				水難救助		救助、危険物、救急、警防			火災調査、救急、特殊災害			

進捗状況	<p>年間訓練計画に基づく訓練を実施し、各隊員の技術と知識の向上が図られた。 合同訓練を定期的実施することにより、署々間の連携が向上された。 技能確認訓練及び総合訓練を実施し、各署の技術力を確認して課題を検証した。 機関員に任命されている職員に対する再教育と、新規機関員の養成を行い、消防力の維持向上が図られた。</p>	進捗度	A (予定どおり進んでいる)
-------------	--	------------	-------------------

今後の方向性	
継続	年間の災害出動件数が増加傾向のなか、消防力の維持向上のために、継続が必要な事業であり、効率的な反復訓練を計画して訓練時間を確保していく。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源			
事業費計(A)	0	0	0	
人件費	正規職員数	7	7	7
	業務時間	2,876	4,576	5,000
	その他職員人件費			
人件費計(B)	9,180	14,707	16,645	
トータルコスト(A+B)	9,180	14,707	16,645	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	応急手当普及啓発事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	消防本部	担当課	戸頭消防署

事業目的・概要
<p>市内在住・在勤・在学の方々に救命講習会への参加を促進し、応急手当の重要性やAEDの取り扱いを含めた救命処置の知識・技術を習得してもらい、救命率の向上を目指す。</p> <p>また、応急手当普及啓発プロジェクトチームにより検討された、応急手当のPRをSNSを利用して配信し、一人でも多くの市民に、応急手当の重要性を認識してもらう推進活動を進める。</p>

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
救命講習会受講者数	人	3,628	4,047	4,100	4,100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
救急検討委員会												
応急手当普及啓発プロジェクト												
進捗状況	<p>年度初めに立案した年間計画に基づき講習会及び訓練等が開催できたことや、応急手当普及のためのPR動画をSNSで配信したことにより、受講者数が増加した。</p>										進捗度	A (予定どおり進んでいる)

今後の方向性	
継続	救命率向上には市民による応急手当が不可欠であり、一人でも多くの方々に心肺蘇生法とAEDの取り扱いを含む、知識・技術を習得してもらうため、継続事業とする。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源			
事業費計(A)	0	0	0	
人件費	正規職員数	7	7	7
	業務時間	496	712	720
	その他職員人件費			
人件費計(B)	1,583	2,288	2,397	
トータルコスト(A+B)	1,583	2,288	2,397	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	消防水利の維持管理事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	消防本部	担当課	戸頭消防署

事業目的・概要
火災時に必要な消防水利を常時使用可能な状態にするため定期点検を実施し、不良箇所を把握して必要に応じた修繕を行い、適正な維持管理に務め地域防災力の強化を進める。

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
すべての消防水利に対する点検率	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水利調査年間計画	水利調査 年間計画作成	前期調査、調査結果に基づく修繕				後期調査、調査結果に基づく修繕 凍結防止処置						
進捗状況	すべての消防水利を年次点検計画に基づく定期点検を行い、点検結果を担当課へ報告するとともに、不良箇所についての補修を行い、適正な維持管理に努めた。 また、冬期には防火水槽の蓋に凍結防止対策を行い、使用に支障がないよう維持管理に努めた。										進捗度	A (予定どおり進んでいる)

今後の方向性	
継続	消防水利を適正に維持管理するために継続する。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源			
事業費計(A)	0	0	0	
人件費	正規職員数	7	7	7
	業務時間	960	960	960
	その他職員人件費			
人件費計(B)	3,064	3,085	3,196	
トータルコスト(A+B)	3,064	3,085	3,196	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	消防隊員・救急隊員の育成事業						
総合計画 重点施策	安全安心な生活が送れるまちづくり	組織目標	○	担当部	消防本部	担当課	吉田消防署

事業目的・概要
<p>複雑多様化する各種災害に的確・効果的に対応するため、訓練計画に基づき訓練や教養を実施し、各隊員の知識・技術の向上に努める。 また、すべての機関員に任命される職員に対する再教育と、新規機関員の養成をおこない、消防力の維持向上に努める。</p>

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
訓練計画及び育成・養成プログラムに対する達成率	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
警防活動検討会	警防検討会 年度計画作成		年度計画に基づく警防活動訓練						警防活動訓練		警防検討会 課題検討	
救急検討委員会	救急検討委員会 年度計画作成		年度計画に基づく救急活動訓練						救急総合シミュレーション		救急検討委員会 課題検討	
救急救命士養成 救急救命研修所入校 救急救命士研修・実習	指導救命士研修、救急救命士実習、研修(就業前教育、再教育、気管挿管実習)、救急救命東研研修所、救急救命士国家試験											
消防学校初任教育	第117期初任科						第118期初任科					
消防学校専科教育				水難救助		救助、危険物、救急、警防			火災調査、救急、特殊災害			

進捗状況	<p>年間訓練計画に基づく訓練を実施し、各隊員の技術と知識の向上が図られた。 合同訓練を定期的実施することにより、署々間の連携が向上された。 技能確認訓練及び総合訓練を実施し、各署の技術力を確認して課題を検証した。 機関員に任命されている職員に対する再教育と、新規機関員の養成を行い、消防力の維持向上が図られた。</p>	進捗度	A (予定どおり進んでいる)
-------------	--	------------	-------------------

今後の方向性	
継続	年間の災害出動件数が増加傾向のなか、消防力の維持向上のために、継続が必要な事業であり、効率的な反復訓練を計画して訓練時間を確保していく。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源			
事業費計(A)	0	0	0	
人件費	正規職員数	7	7	7
	業務時間	2,876	4,576	5,000
	その他職員人件費			
人件費計(B)	9,180	14,707	16,645	
トータルコスト(A+B)	9,180	14,707	16,645	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	応急手当普及啓発事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	消防本部	担当課	吉田消防署

事業目的・概要
<p>市内在住・在勤・在学の方々に救命講習会への参加を促進し、応急手当の重要性やAEDの取り扱いを含めた救命処置の知識・技術を習得してもらい、救命率の向上を目指す。</p> <p>また、応急手当普及啓発プロジェクトチームにより検討された、応急手当のPRをSNSを利用して配信し、一人でも多くの市民に、応急手当の重要性を認識してもらう推進活動を進める。</p>

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
救命講習会受講者数	人	3,628	4,047	3,700	3,700

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
救急検討委員会												
応急手当普及啓発プロジェクト												
進捗状況	<p>年度初めに立案した年間計画に基づき講習会及び訓練等が開催できたことや、応急手当普及のためのPR動画をSNSで配信したことにより、受講者数が増加した。</p>										進捗度	A (予定どおり進んでいる)

今後の方向性	
継続	救命率向上には市民による応急手当が不可欠であり、一人でも多くの方々に心肺蘇生法とAEDの取り扱いを含む、知識・技術を習得してもらうため、継続事業とする。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源				
事業費計(A)	0	0	0		
人件費	正規職員数	7	7	7	
	業務時間	496	712	500	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	1,583	2,288	1,665		
トータルコスト(A+B)	1,583	2,288	1,665		

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	消防水利の維持管理事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	消防本部	担当課	吉田消防署

事業目的・概要
<p>火災時に必要な消防水利を常時使用可能な状態にするため定期点検を実施し、不良箇所を把握して必要に応じた修繕を行い、適正な維持管理に務め地域防災力の強化を進める。</p>

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
すべての消防水利に対する点検率	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水利調査年間計画	水利調査 年間計画作成	前期調査、調査結果に基づく修繕				後期調査、調査結果に基づく修繕 凍結防止処置						
進捗状況	すべての消防水利を年次点検計画に基づく定期点検を行い、点検結果を担当課へ報告するとともに、不良箇所についての補修を行い、適正な維持管理に努めた。 また、冬期には防火水槽の蓋に凍結防止対策を行い、使用に支障がないよう維持管理に努めた。										進捗度	A (予定どおり進んでいる)

今後の方向性	
継続	消防水利を適正に維持管理するために継続する。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源			
事業費計(A)	0	0	0	
人件費	正規職員数	7	7	7
	業務時間	960	960	960
	その他職員人件費			
人件費計(B)	3,064	3,085	3,196	
トータルコスト(A+B)	3,064	3,085	3,196	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	消防隊員・救急隊員の育成事業						
総合計画 重点施策	安全安心な生活が送れるまちづくり	組織目標	○	担当部	消防本部	担当課	櫛木消防署

事業目的・概要
<p>複雑多様化する各種災害に的確・効果的に対応するため、訓練計画に基づき訓練や教養を実施し、各隊員の知識・技術の向上に努める。 また、すべての機関員に任命される職員に対する再教育と、新規機関員の養成をおこない、消防力の維持向上に努める。</p>

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
訓練計画及び育成・養成プログラムに対する達成率	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
警防活動検討会	警防検討会 年度計画作成		年度計画に基づく警防活動訓練						警防活動訓練		警防検討会 課題検討	
救急検討委員会	救急検討委員会 年度計画作成		年度計画に基づく救急活動訓練						救急総合 シミュレーション		救急検討委員会 課題検討	
救急救命士養成 救急救命研修所入校 救急救命士研修・実習	指導救命士研修、救急救命士実習・研修(就業前教育、再教育、気管挿管実習)、救急救命東京研修所、救急救命士国家試験											
消防学校初任教育	第117期初任科						第118期初任科					
消防学校専科教育				水難救助		救助、危険物、救急、警防			火災調査、救急、特殊災害			

進捗状況	<p>年間訓練計画に基づく訓練を実施し、各隊員の技術と知識の向上が図られた。 合同訓練を定期的実施することにより、署々間の連携が向上された。 技能確認訓練及び総合訓練を実施し、各署の技術力を確認して課題を検証した。 機関員に任命されている職員に対する再教育と、新規機関員の養成を行い、消防力の維持向上が図られた。</p>	進捗度	A (予定どおり進んでいる)
-------------	--	------------	-------------------

今後の方向性	
継続	年間の災害出動件数が増加傾向のなか、消防力の維持向上のために、継続が必要な事業であり、効率的な反復訓練を計画して訓練時間を確保していく。

事業費(単位:千円)		R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源				
事業費計(A)		0	0	0	
人件費	正規職員数	10	10	10	
	業務時間	2,876	4,576	5,000	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		9,180	14,707	16,645	
トータルコスト(A+B)		9,180	14,707	16,645	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	応急手当普及啓発事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	消防本部	担当課	櫛木消防署

事業目的・概要
<p>市内在住・在勤・在学の方々に救命講習会への参加を促進し、応急手当の重要性やAEDの取り扱いを含めた救命処置の知識・技術を習得してもらい、救命率の向上を目指す。</p> <p>また、応急手当普及啓発プロジェクトチームにより検討された、応急手当のPRをSNSを利用して配信し、一人でも多くの市民に、応急手当の重要性を認識してもらう推進活動を進める。</p>

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
救命講習会受講者数	人	3,628	4,047	3,700	3,700

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
救急検討委員会												
応急手当普及啓発プロジェクト												
進捗状況	<p>年度初めに立案した年間計画に基づき講習会及び訓練等が開催できたことや、応急手当普及のためのPR動画をSNSで配信したことにより、受講者数が増加した。</p>										進捗度	A (予定どおり進んでいる)

今後の方向性	
継続	救命率向上には市民による応急手当が不可欠であり、一人でも多くの方々に心肺蘇生法とAEDの取り扱いを含む、知識・技術を習得してもらうため、継続事業とする。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源				
事業費計(A)	0	0	0		
人件費	正規職員数	10	10	10	
	業務時間	496	712	500	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	1,583	2,288	1,665		
トータルコスト(A+B)	1,583	2,288	1,665		

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	消防水利の維持管理事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	消防本部	担当課	櫛木消防署

事業目的・概要
<p>火災時に必要な消防水利を常時使用可能な状態にするため定期点検を実施し、不良箇所を把握して必要に応じた修繕を行い、適正な維持管理に務め地域防災力の強化を進める。</p>

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
すべての消防水利に対する点検率	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水利調査年間計画	水利調査 年間計画作成	前期調査、調査結果に基づく修繕				後期調査、調査結果に基づく修繕 凍結防止処置						
進捗状況	<p>すべての消防水利を年次点検計画に基づく定期点検を行い、点検結果を担当課へ報告するとともに、不良箇所についての補修を行い、適正な維持管理に努めた。 また、冬期には防火水槽の蓋に凍結防止対策を行い、使用に支障がないよう維持管理に努めた。</p>										進捗度	A (予定どおり進んでいる)

今後の方向性	
継続	消防水利を適正に維持管理するために継続する。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源			
事業費計(A)	0	0	0	
人件費	正規職員数	10	10	10
	業務時間	960	960	960
	その他職員人件費			
人件費計(B)	3,064	3,085	3,196	
トータルコスト(A+B)	3,064	3,085	3,196	